

学校訪問シリーズ 31

臼杵市立臼杵小学校から学ぶ 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「やさしさ・たくましさ・かしこさを身につけ、困難に立ち向かう『生き抜く子』の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を、「耐力（困難を克服し、乗り越える力）」「対話し表現する力（自己肯定感）」と定め、それぞれの重点目標を組織的、計画的に推進しています。

特徴的な取組は、右図のマンダラ・チャートで解析を行っていることです。これにより、育成すべき資質・能力やそのための手段がわかり、達成状況を色分けしていることで課題も明確になります。このことから、様々な情報が共有できるので、新たなアイディアもだしやすくなるので、各学年や分掌による協働的な取組や、カリキュラム・マネジメントの推進が期待されます。

また、「耐力」や「対話し表現する力」をより育成するため、今年度の運動会は、児童による「実行委員会」を立ち上げたそうです。実行委員のメンバーを中心に、どのような練習が効果的か、低学年の児童を動かすにはどうしたら良いか等の取り組みを通して、子ども達自身も、「何のために行うのか」という目的と手段を分けて考えるようになり、よりよい大会となったそうです。

やさしさ・たくましさ・かしこさを身につけ困難に立ち向かう「生き抜く子」の育成

自己理解 74.4%	他者理解 90.5%	なかよし班 活動の充実 ほつとタイム	なかよし班 活動の充実	家庭での実 践	学校での実 践	なかよし班 活動の充実	リーダー育 成	自由（ルー ル作り）
大人の心の 余裕 88.2%	自己肯定 感 95.6%	できた！わ かった！	わ・あとの交 渉	やさしさ の 実践	実践力 99.3%	SST 習得力	継続意 欲	まよりの見 える化 94.5%
大人がほめ る・認める 力	スマイルス トップ成績 体験	人間関係プ ログラム	感謝・思い やり	個性表現・発 言 実践力 99.3%	環境変化 への 実践力	基礎学力の 向上 実践力 99.3%	マナー	ネットルール 73.5%
家庭力 83%	相互の助 け合い 90.5%	負ける難 習・体験	自己肯定 感	やさしさ の 実践	規範意 識	スポーツの 動作 15.4%	発声活動	外遊び 75.4%
音子の送 取・乗り越 える力	耐力	ゲーム・TV の抑制 73.6%	主 体性	生きぬ く子	体力	運動できる 児童 88.2%	発声活動	目標を持 てる 92%
努力の継続 86.2%	粘り強さ 94.1%	なかよし班 そうじ 93.3%	主 体性	表現力	学力	読書 93.5%	生活習慣・ 早起早起 83%	時間の使い 方
授業改善 86.7%	自分で決 める 88.2%	加算・新 員会活動 81.3%	多様な表現 活動の充実 81.3%	取組レベ ル 88.2%	授業改善 88.2%	対話活動の 実践 66.7%	ICT活用 81.3%	スキルタイム 実施率 100%
役割と責任 94.4%	主 体性	（白）日 曜に明確に 92%	コミュニ ケーション	表現力	読書活動の 向上（読書） 88.2%	読書活動の 充実	学力	家庭学習 自主学習 94.3%
少人数活動 83%	夢・志	（白）失 敗を認めな い	発表の場と 評価	提示・問 二・音読	「話す」 「白える」	求められる 力の検証 95.6%	読書活動 実践力 95.6%	UD授業



NO.224 2022年10月 臼杵市立臼杵小学校

やる気の姿勢

腕が伸びる。背中も伸びる。
拳手の指先まで集中する。
本気のやる気が伝わる。



NO.227 2022年10月 臼杵市立臼杵小学校

聴く人がいる

みんなの前で発表できるの
は、共感して聴いてくれる友
達がいるから。

授業から学ぶ

参観した授業では、教師の発問に対して、子ども達は意欲的に発言したり、友達の意見をつないだりしていました。指導案には、子どもの考えや予想される答えを明記しているので、子どもの考えやつぶやきを拾いながら授業を展開してました。

今後は、拳手をする子どもを中心とした展開より、子どもどうしの学び合い等を取り入れることで、学校が育成を目指す資質・能力が育成されると思われました。その際は、教師は全体を俯瞰的に見ること、それぞれのグループの良さや進捗について形成的な評価を行い、次への活動につなげると良いと思いました。



NO.225 2022年10月 臼杵市立臼杵小学校

ふりかえる

自分が考えたこと。友達と学んだこと。次にやってみたいこと。そんな成長を記録する。



NO.224 2022年10月 臼杵市立臼杵小学校

挑戦する

近くで手伝ってくれる友達や
離れて見守ってくれる友達が
いる。だから挑戦できる。



NO.226 2022年10月 臼杵市立臼杵小学校

活用する

「この考えが利用できるよ」
学んだことを活用すると、いろ
いろな課題を解決できる。